

消防職員への団結権付与に向けて

2010年5月21日

第5回消防職員の団結権のあり方に関する検討会

全国消防職員協議会 事務局長

門間孝一

1.全国消防職員協議会(全消協)とは？

- 結成：1977年8月
- 会員数：約1万3000人
(2010年1月現在)
*結成当初は約2500人
- 目的
 - ・地域住民のための消防行政向上
 - ・働きやすい職場づくり



大切なのは、
現場で働く消防士の
目線です。

<活動内容>

- ・各種調査や研究活動
- ・勤務実態や安全衛生などについて
全国的な情報交換や学習会
- ・女性消防職員連絡会の設置
- ・各消防本部の消防職員委員会への
積極的な参加

これまで、 全消協活動でこういうことをやってきました

<A消防本部の女性消防職員>

- 女性会員どうしの情報の共有と交流を目的とした女性連絡会があり、女性が消防職場で自分の持っている力を十分発揮できるような環境作りをめざして活動しています。
これまで、全国各地の消防職場で頑張っている女性会員と知り合うことができました。仕事の悩みを相談したり、情報を交換することができる仲間が存在はとても心強いです。

<B消防本部の男性消防職員>

- 15年前に自主組織を結成。年休取得率も向上し自分や家族の時間が増えました。その後も消防署での住民票24時間受渡しなど行政サービスにも大きく関わっています。
- バイクを7台購入しての市内各種マラソン大会の先導や、AEDなど応急処置ボランティア活動も市民権を得ました。



<C消防本部の男性消防職員>

- 私の職場では協議会結成前、労働条件の悪さや上司によるパワーハラスメントなど多くの問題を抱えていました。
- 自主組織結成後は、職場環境が劇的に改善されました。現在では消協の勉強会、スポーツ大会など様々な行事活動にも参加しています。
- 協議会に入ったことで仲間が増え、他消防との違いを知り、情報を得ることができるようになりました。

2.消防職場の勤務実態と課題

(1)勤務体制の違い

- 勤務条件はそれぞれの消防本部によって異なる
- 同じ消防本部の中でも、勤務体制が異なる(別図1参照)
 - 「毎日勤務者」:局長、日中に勤務する職員
 - 「隔日勤務者」:消防士、救急救命士などの泊まり勤務のある職員



休みのとり方や手当など、勤務体制による不公平感が生まれやすい

(2)個人装備の問題

- 火災から身を守る防火衣は、個人に貸与されるものではない



サイズが合わないものを着用したり、古くなって破損したものも何度も自分で修理して更新されるまで着用

ほかにも、人員不足のために休暇が非常にとりにくかったり、業務によるストレスからメンタルヘルス上の問題が起きたり、職員の高齢化で人事が硬直化したり・・・

3.消防職員委員会の実態

(1) 消防職場が上意下達であることに起因する問題

- 上司に対して不満や不安を口に出して言うことが難しい
- 「意見を出したら上司に睨まれる」と思っている職員も多い
- 実際に出した意見を取り下げるよう強要されることもある

(2) 開催回数・時間の問題

- 年1回、2時間程度しか開催されないところが多い(全消協調査で90%以上)
- 職場の改善に向けた突っ込んだ議論ができない

(3) 審議対象項目の問題

- 勤務時間に関することであっても、「審議対象外」とされることもある
- 審議対象外となった理由が説明されない

消防組織法

(消防職員委員会)第十七条

次に掲げる事項に関して消防職員から提出された意見を審議させ、その結果に基づき消防長に対して意見を述べさせ、もつて消防事務の円滑な運営に資するため、消防本部に消防職員委員会を置く。

- 一 消防職員の給与、勤務時間その他の勤務条件及び厚生福利に関すること。
- 二 消防職員の職務遂行上必要な被服及び装備品に関すること。
- 三 消防の用に供する設備、機械器具その他の施設に関すること。

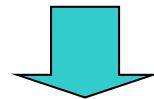
4. 団結権の必要性

(1) 全消協ではできないこと

- 全消協は、労働組合でも職員団体でもない、自主的な集まり
- 当局との話し合いをしたくてもそれを法的に保障する制度がない

(2) 団結権があればできること

- 常に職場の労使で問題を共有し、対等な関係で話し合う場の設定
イコール、団結する権利



- ・ 民主的な消防職場づくり
- ・ 地域の消防サービスの向上

別図1 消防の勤務形態

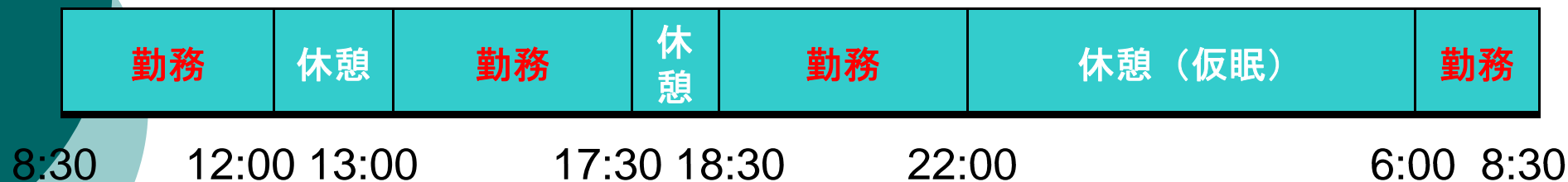
毎日勤務 ……8時30分～17時15分
 交代制勤務……8時30分～翌日8時30分
 (内勤務時間は概ね15時間30分)

交代制勤務の種類
 2部制(隔日制勤務)
 3部制

	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
2部制	勤	非	勤	非	勤	非	週	週	勤	非	勤	非	週	週	勤	非	勤	非	勤	非	週
3部制	勤	非	週	勤	非	週	勤	非	週	勤	非	週	勤	非	週	勤	非	週	勤	非	日

- 勤…勤務日(一昼夜職場に拘束される日)
- 非…非番日(職場から解放される日)
- 週…週休日(通常の休日)
- 日…日勤日(8時30分～17時30分まで勤務する日)

一般的な勤務時間



業務割り振り例

訓練
車両点検
資器材点検
等

消防訓練指導
地水利調査
防火対象物査察
等

資器材整備
火災調査事務
査察書類作成
教養・自己鍛練
等

交代での受付勤務
(119番通報受付)

申し送り事務
車両整備
等

← この間に緊急出動要請あれば
当然すべての業務に優先して対応することとなる →